日本スポーツ用品協同組合連合会 会報

2015.1.20

No.71

JSERA
Japan Sporting Equipments Retailers Association

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会
〒111-0053　東京都台東区浅草橋5-8-6
東京スポーツ会館　301号室
☎ 03-5829-6490　FAX 03-5829-6491
ホームページ　http://www.jsera.jp/
E-mail　jsera@jsera.jp

〈2014／8～2015／7のスローガン〉
スポーツで元気な日本を創ろう!

新年挨拶

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会
理事長　重森　仁

新年、明けましておめでとうございます。2015年初春、いかがお過ごしでしょうか。私事で恐縮ですが、年男としていつまでもやさしい羊でありたいと祈りました。

さて、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームと視界は良好かもしれませんが、足元に目を転じますと増税、急激な為替変動、少子化等厳しい現実があります。今こそ、三層が結集して難局を突破したいものです。

昨年11月に九州ブロック総会、近畿ノルディックウォーキング大会、中国ブロック総会と各地の行事に参加させていただきました。

九州ブロックの総会、関連事業の充実度はいつも感心させられます。記念講演では、2012ミスインターナショナルの吉松育美さんの希望に満ちたお話を聞かせていただきました。スタイルだけでなく、高い語学力を必要とされる同コンテストで、日本人が世界一になることは、至難の業と言われていたようですが、彼女はその栄冠を勝ち得ました。彼女曰く、「世界一になるには方法論よりも、そうなりたいと思う気持ち、すなわち、パッションを持ち続けることが大切」だと。合理的思考を求めがちな今日でも、行動の原点には、やはり「強い気持ち」が大切だと実感しました。

近畿ブロック主催のノルディックウォーキング大会は、奈良県組合主幹で行われました。好天に恵まれ、300人の参加者は晩秋の飛鳥路を満喫しました。関係メーカーさん、卸さん、近畿各府県の組合員の協力で見事な運営をされました。三層の協調劇は、紅葉の鮮やかさに負けないものでした。

また、中国ブロックの総会も立派な運営をしていただきました。個性あふれる各ブロックの取り組みに参加でき、幸せな思いに、いやそれ以上に頼もしい気持ちになりました。

中国ブロック総会の記念講演において朝日医療専門学校　岡山校　山下立次校長先生から、我々の業界にとって多くの示唆をいただきました。

そのひとつを紹介いたしましょう。

それは、健康寿命に関わることです。健康寿命とは、ご存じのように、日常的に他人の助けを受けないで自立した生活できる生存期間で、日本人は男性で70.4歳、女性で73.6歳程度と言われています。健康寿命と平均寿命の乖離は10年ほどあります。すなわち、平均して、1人が10年間介護を受ける勘定ですから相当な経費（介護・医療費）になります。この健康寿命を限りなく平均寿命に近づけることができれば（いわゆるピンピンコロリ）、介護・医療費を大きく削減できることになります。国家財政課題の1つの解決に繋がります。PPK（ピンピンコロリ）、それは1979年、長野県高森町で高齢者の健康維持運動の標語として造られたと聞きます。山下

先生によればPPKの具体的なサポート例として
＊誰もが気軽に運動ができる組織・施設の充実
＊高齢者・障害者の運動・リハビリのプログラム開発・指導
＊仲間つくりのサポート
を挙げてくださいました。我々の業者からすれば、上記前2項を
＊より最適にする用品・用具の供給
を追加して挙げることができるでしょう。

ウォーキングやノルディックウォーキングに関わること一つを取り上げても、PPKのサポートに大いに役立っていることと思います。このテーマなら、3層が協力し合ってそれなりの成果が得られることと期待できます。

生涯イキイキとした人生を送ること、介護・医療費の削減、という大きな社会貢献を果たしつつ、三層の利益も創出するものです。三層協調して日本が抱える課題に挑戦することを夢見ます。

余談になりますが、日本人の健康寿命は、平成22年で、男性70.4歳（平均寿命79.6歳） 女性73.6歳（平均寿命86.3歳）

ちなみに健康寿命の女性ワースト1は私の住む滋賀県で72.3歳、トップ1は静岡県の75.3歳、この2県の平均寿命を比べると滋賀県の方が0.2歳長い。男女とも健康寿命上位には静岡県、愛知県などが並ぶ。理由ははっきりしないらしいが、お茶が関わっているのだろうか。それとも施策の差なのか。今後の官民挙げた取り組みで健康寿命と平均寿命の差は少なくなることが期待されるが、この取り組みに大いに関わりたいものです。

健康長寿はもちろん大切なことですが、われわれ業界にとって、もうひとつの大きな課題があります。それは、「少子化」プラス「スポーツ離れ」です。もちろん、前者は、われわれ業界の課題と言うより、日本全体の課題と考えた方が適切でしょう。識者がそれぞれの視点から色々な対策を提案し、また、各種の施策も実施されていますが、実効は上がっていないようです。外国には、成功例もあるようですが、日本にそのまま適用するには無理もあるようです。

後者の「スポーツ離れ」は、「少子化」に掛け算で効いてくるファクターです。三層挙げて取り組むべき課題と認識いたします。学校の先生方と協力して、『安心・安全の場』構築を目指すと共に「スポーツ好き」の子供を増やす取り組み（増やそうスポーツ好き子供たち、略してSSC）を考えては如何でしょうか。

新年にあたり、2つの提案をいたしましたが、夢で終わらないようにしたいものです。

繰り返しますが、取り組み強化は、「PPK」と「SSC」です。

末尾になりましたが、皆様のご健康と各企業、団体の益々のご発展を祈りつつ、新年のご挨拶と致します。

活性化委員長としての抱負

JSERA 日本スポーツ用品協同組合連合会
副理事長　美 馬 義 一（活性化委員長）
高知県スポーツ用品小売商協同組合　理事長

明けましておめでとうございます。

このたび副理事長を拝命させていただきました。若輩者の私には、大変任の重い仕事と思われますが、一生懸命勤めさせていただきますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

私は現在、活性化委員会の委員長をさせていただいております。

活性化委員会は福岡県の笹渕理事、奈良県の辻川理事、美馬の３名で組織されています。

全国理事会やJSERAレポートに重複する部分がありますが、今回は現在行っている事業、今後予定されている事業をご紹介させていただきます。

委員会の今期の業務内容は「優良小売店の認定制度に向けた活路開拓事業」に重点をおいております。

1. スポーツ安全対策認定講習会の実施
2.「体育の日」の活性化への努力
3. 2020東京オリンピック、パラリンピックと地域スポーツの推進
4. 各組合法人化の推進

「スポーツ安全対策認定講習会の実施」については、経済産業省より新提案が出され、安全安心を切り口としたスポーツ産業振興を図る目的で、活路開拓として、H26年６月から取り組みました。

組合員皆様に対するアンケート、各県小、中、高、大学に対する「スポーツ用品、用具の取り扱いについてのアンケート」調査もその一環です。送付用アンケート119件、聞き取りアンケート30件が回収されております。アンケートの内容に関しましては､2月３日の全国理事長会議の前に進捗状況、報告会がありますので、組合員様には理事長様からのフィードバックをよろしくお願いします。

その後、スポーツ安全対策認定講習会を実施に向け取り組んでおります。この講習会は過去JSERA主催の「スポーツを安心してできる場」を提供するための講習会（修了証取得者250名）をスキルアップした経済産業省指導の基、マイスター制度に発展させる方向性を模索しております。

「体育の日」の活性化への努力につきましては、現在大多数の組合様が実施されています

この事業も実施12年目となり卸商組合様にもご賛同、ご協力をいただいております。

今年実施しましたアンケートに関しましては、すでにJSERAレポート65号にて詳細を報告させて頂いておりますのでそちらをご覧ください。送られた施設の方々には、大変喜んでいただいております。

今後も各県関係行政機関にも主旨を十分にアピールし、この取り組みを有意義な事業として継続させていきたいものです。

2020東京オリンピックに対する取り組みは、まず社員向けの何か（例えば夏用､冬用ユニフォーム、ピンバッチなど）を作るために、スポンサーになるメーカーと話し合い、交渉を行う予定です。そして、その何かが地域の活性化、地域スポーツの推進、ひいては各組合員の発展につながるように、皆様のお知恵をお借りできればと思っております。

各組合の法人化の推進ですが、法人組織として成立している事が重要視されることが多くなってきております。賛助会員の組合様にはご理解いただき、法人化をお勧めしていくつもりです

以上４つの業務を前進させるには、皆様方のお力添え、ご協力が必要ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。前進しましょう。

新委員長一言

広報委員会の役割

JSERA 日本スポーツ用品協同組合連合会
副理事長　松村善行（広報委員長）
宮城県スポーツ用品協同組合　理事長

この度広報委員長を長年牽引していただいた角前さんより引きついだ北海道・東北ブロックの松村です。文章を作ることや編集することが苦手な私ですが皆様のご協力いただき、務めますのでよろしくお願い致します。

広報の役割はJSERAからのお知らせ、情報提供等の役割もありますが、会員一人一人の提案、ご意見、悩みを頂き諸先輩のアドバイスを加え皆様に返信することから始めますのでよろしくお願い致します。

まちの運動具店として行政・学校・子どもたちに安全安心を提供する店として信頼を得、地位を高め、価格の前にすることを推進するための情報を共有していく方策を皆様と模索して行きたいと思います。

現在の商売は多様な形で進化しその対応に日々苦慮していることと思いますが、フェース対フェースがベースになりお客様と信頼を築いていくものと信じております。

物を売ることの前に信頼を得ることへの（皆様には釈迦に説法ですが）対応がスタートとし、ご意見を伺いたいと思います。

年一回の全国大会・理事長会議・ブロック会等の情報だけでは皆様のお声を収集しきれていないのが実情です。

情報社会でITを活用しホームページ、ブログ、フェースブック等を活用し悩み、意見を収集する事のご意見もありますが、アナログ的でありますが原点に返り電話、ファックスにて提案、悩み、困りごと、ご意見等を伺いたいと思います。

一人で悩まず、JSERA全体で前に進んで行きたいと思いますので小さな事でも遠慮せずに情報提供のご連絡お願い致します。

FAX　03－5829－6491
広報委員会携帯 090－5506－5651

事業委員会の委員長を引き受けて

JSERA 日本スポーツ用品協同組合連合会
副理事長　角前博道（事業委員長）
三重県スポーツ用品協同組合　理事長

この度2014JSERAの理事の変更により、活性化・広報・事業・総務の各委員長が変わりました。私は今まで前竹原委員長の後、広報委員長としてJSERAリポートの発行、POS事業の推進、環境問題への理解と実践等々の業務を行って来ました。今回、全く経験のない事業委員長をお引き受けしましたが、前関水委員長の様に細かく又正確に内容を組合員に伝えられるか、又この委員会は実際にJSERA全体に儲かる様に引っ張っていけるか不安でいっぱいです。でも、メンバーに事業委員会の経験のある関口理事、又広報で一緒に仕事をした桑原理事の両名がおられるので協力してもらいながらやっていきたいと思っています。

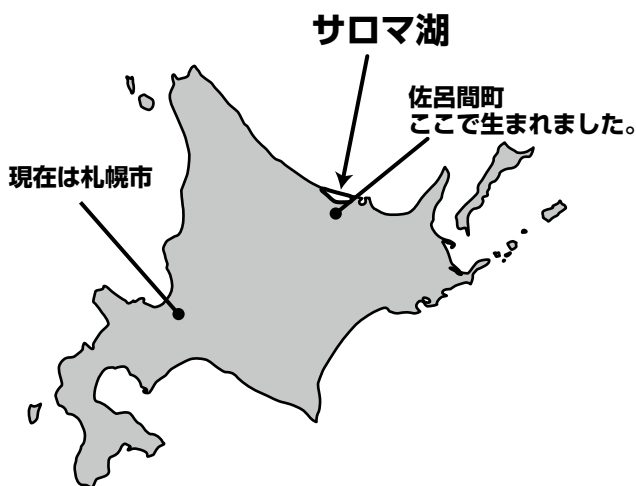
事業の業務としては①ラインパウダー・ショッピングバッグ・スポーツ安全メガネ各事業の推進②JSERAの商品づくり③３大大会の情報伝達会議の開催と各種大会への表敬訪問並びに情報収集④売店活動の強化と改善⑤JSECとの密なる連携等、多くの仕事があります。一つ一つ丁寧に確実に行って行きたいと思っています。JSERA組合員全員の協力を仰ぎたいと思っています。

今回新理事に任命されました

JSERA 日本スポーツ用品協同組合連合会
理事 **吉田留美子**（広報委員）
北海道スポーツ用品小売商組合　専務理事

今回新理事に任命されました、札幌市で営業しています㈱ホクトスポーツの吉田留美子といいます。

さっそくですが自己紹介をしていきます。

【出生地】北海道（ばりばりの？道産子）の佐呂間町。冬はマイナス30度の日もあり夏はプラス30度を超える日もあり。商売の家に生まれとにかく人の出入りが多かったなあー！佐呂間町の名産品は、カキ、ホタテ、北海シマエビなどとにかく最高においしいです。

【年齢】たしか50代

【家族構成】まじめな公務員の夫が一人、子供は男1名（金のかかる学生）、女1名（社会人2年目ついに家から出て自炊する）

【趣味】・音楽鑑賞…フォーク世代で育ったのでライブに行った時は、超ノリノリ（ストレス発散には最高です）
・ゴルフ…札幌市内のとあるゴルフ倶楽部のレディスシニア選手会に所属、昨年クラブ対抗に出場するための予選で6番目（6人出場）だったのがあと一歩およばず逆転され補欠へ転落（補欠は辛いです）

【血液型】B型。商売にむいているといわれていますが（？）ときどき鏡の前で笑顔のポーズを確認（けっこうおもしろいですよ）

【特技】能力のある人を巻き込んで一緒に活動することかなー

以上簡単に書いてみました。

さて、私の所属は広報委員です。今回から女性専用ページ“女子会の扉”というコーナーを設けさせていただくことになりました。このコーナーは、女性の皆さんとの交流の場と考えております。是非積極的に参加してほしいと思っております。(全国の女性が主役です)

昨年10月金沢で開催された全国大会では、甲理事長はじめ組合員の方々の行動力で、たくさんの女性が参加してくれました。今迄何回か全国大会に参加しましたがこんなに女性が出席したのは初めてじゃないでしょうか？研修会でも皆さんそれぞれが意見を出してくれて、いい刺激をもらって帰ってくることができました。とはいっても全国は、遠くてお金もかかります。まずはブロックで何かできないか？そしてJSERAに入っていてよかったねといえること。女性の皆さん行動に移してみませんか！

権利・義務・責任

JSERA 日本スポーツ用品協同組合連合会
理事　辻 川 準 一（活性化委員）
奈良県運動用具小売商協同組合　理事長

JSERA組合員の皆様始めまして。私は一昨年、奈良県組合の理事長に就任し、今年、二期目を迎えさせて頂いております。それまでの理事時代は、3名の理事長にご指導を受けており、特に前理事長の野田さんには事業部長として、高校総体、各事業の他、行政・各事業所、関係者との接渉、全国総会・奈良大会他、組合行事に携わせて頂きました。理事長代行として全国理事長会、全国総会・埼玉大会への派遣など、多くのJSERA役員様と出会いご指導を受ける事が出来ました。そして昨年、諸先輩理事長様が多々いらっしゃる中、「近畿はひとつ」を合い言葉に近畿ブロック協議会会長、重森滋賀県理事長の後任として会長を務めさせて頂く事となり、今回、同協議会より推挙され、理事として参画させていただく事に成りました。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて表題に有りますように「権利・義務・責任」どのような業界でも言われていますが、私達の業界で言えば次のような問い合せがよくあります。「バレーボール支柱が内側に傾いています。ウォームギャーが廻りません修理出来ますか。」「卓球台の脚が折れましたが溶接出来ますか。」「マットが破れましたが修理出来ますか。」等です。先に見積書を依頼されます。このような場合、内容を把握するため現場へ行き修理方法を模索し、即答出来ない場合は、器具を写真撮影しメーカーに送付。後日依頼者に見積書を持参し修理の必要性を説明します。（修理費が満たない場合は来年度回し、修理費が有る場合は三者見積合わせ。）

ところが設備関係会社代理店に水回り関係、クーラー関係の点検を依頼したところ、後日、見積書と共に点検・見積費の請求書が届きます。私達小売店では、修理現場へ一人であれ、メーカー様共であれ点検見積する場合、殆ど見積に対する費用を請求できません。

数年前よりJSERAでは、「納入責任」として体育器具・用具の保守点検、正しい使用方法等の講習会を、希望により全国組合単位で行われています。修理現場へ行き、小売店として自信を持ち、安全点検をアピールして行く必要があると思います。

今回、私はJSERA活性化委員会のメンバーとなり、担当する業務の中には、「スポーツ安全対策認定講習会の実施。」も含まれています。
JSERA組合員として今年度からより一層、体育器具・用具の取り扱いでの信頼感を得られる「基礎知識」を身につけ、修理現場で即見積もでき、出張費を請求出来るスポーツ専門店を、皆様と共に目指したいと思います。

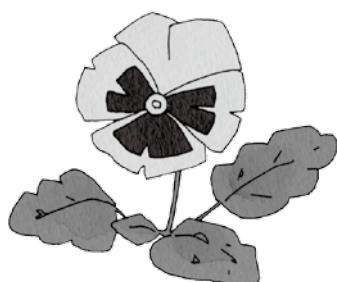
新理事紹介

抱　負

JSERA 日本スポーツ用品協同組合連合会
理事　渡邉健介（共生委員）
広島県スポーツ用品協同組合　理事長

恥ずかしながら10年ぶりに理事として組合に戻って参りました。横井正一さんほどの時代錯誤はないとは思っているのですが、皆様のご努力により進化した組合に少しでもお役に立つことが出来れば幸甚に存じます。

この度、共生委員会に配属され　正常化対策会議を大阪と東京で開催致します。組合・卸・メーカーに対する組合員皆様方の不平不満等のご意見を本部までお届け頂ければ幸いです。卸・メーカーの方々と話し合いたいと思っています。

組合の一層の発展のために微力ながら奮闘したいと思っています。何卒宜しくお願い申し上げます。

新監事紹介

新監事として

JSERA 日本スポーツ用品協同組合連合会
監事　竹原和彦
福井県スポーツ用品協同組合　理事長

10月の役員改選で新しく監事に選出された竹原でございます。

4年前JSERAの役員を退かせていただきましたが、その間、組合員の立場で組合活動を見ていますと、「これで良いのだろうか…」とか「我々の問題点は協議してもらえているのだろうか…」等と色々気づかされる事が多かったように思います。しかし、今回またJSERAの役員として内部に入ることになりますと、不思議なもので、組合としての問題点が見えなくなってしまいそうな気が致します。

そんな事から考えますと、時には役員の方も一度役員の立場を離れて外部から、それこそ組合員の立場でJSERAのやっている事や協議している事等を冷静に見ると、きっと色々考えさせられる事もあるのではないかと思ったりします。

さて、JSERAの組合員の減少が毎年続いていて深刻な状況になっています。それに、組合員も少子高齢化の中で「売上げの不振」や「後継者の問題」等で店の将来への不安を感じています。さらに、大多数の零細小売店は、メーカーや卸との関係でも「直販や直営店の問題」「大会での売店販売の問題」「卸値や送料・組立費の問題」「ネット通販や大型店との問題」等と色々あって、一段と厳しい状況になっています。

我々スポーツ店のまわりにはこんなにもいろんな問題点があるのだという事を役員としていつも忘れてはならないと思います。JSERAはこんな時こそ〝頼れる存在〟として、力を発揮出来ているかが問われている事になります。

力不足ではありますが、年長者として若い役員の方を励ましながら、自分もどれだけ情熱をもって行動する事が出来るか…。大事な場面でどんな発想が出来るか…。〝老いの一徹〟で少しでも問題点の改善につながるようお手伝いが出来たらと思っています。どうぞよろしくお願いします。

新監事紹介

JSERA 監事としての抱負

JSERA 日本スポーツ用品協同組合連合会
監事　羽田野隆司
㈱ D&M　相談役

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年齢83才を超しましたが、高齢化の現在ではさして高齢と言える年代ではありませんが個人差が有り、些の記憶それも不思議に直近の事柄への記憶の失念から、その仕事に係る不都合や迷惑を思いがけない人に掛けてしまう虞を感じまして、一昨年来からその任に有りました全国運動用品商工団体連合会や日本スポーツ用品厚生年金基金などの代表の立場を辞して来ました。然し先頃JSERA重森理事長から組合の監事役に就いてのご依頼を頂き、辞退申し上げましたが御得意先筋の事業に御協力をしますのはメーカーの務めでもあります。仕事に対します前向きの信念と年齢的なハンディの懸念とは裏腹である処も充分に考慮して、慎重にお勤めすべくお話を承りました次第であります。現役を離れまして大分経ちますが、昨今の情報は同じ業界の事柄かと思うところでもあります。現在の業界内の流通を観ます時、我々の経験上の意見と大きな差異を感じる処であります。努めて役職での仕事を全うすべく心掛ける次第であります。今はどれ程お役に立つかと言う事よりも、周囲に御迷惑の掛らない様に暫らく現場を離れておりましたゆえ勉強に掛る事が必要と思っております。

新理事長登場

新理事長としての抱負

長崎県スポーツ用品協同組合
理事長　森　彰夫

新年明けましておめでとうございます。2015年も幕を開けましたが、昨年以上の良い年になりそうな予感が致します。皆様、常に前向きに進みましょう。

昨年は、45年ぶりに念願の「長崎がんばらんば国体」・「長崎がんばらんば大会」が開催されました。

開会式当日は、台風19号の影響で、開催が大変心配されましたが、天の恵でまさに「奇跡」のごとく、式の間は無風の状態が続き、手づくりの素晴らしい、華やかな式典がとり行われ、大変感動の一幕でした。その後、一部の競技が中止となり、100％満足のいく大会とはなりませんでしたが、全国から参加されました競技役員・選手・応援の方々に長崎県の「力」と「おもてなし」が十分に伝わったと確信し、大成功の大会だったと思います。

その中において、私達組合員は前理事長松原究氏をトップに、今までの国体開催県等を視察して、JSEC・NESと連携を組み、今回の長崎国体で各競技の売店事業に携わり、スムーズに運営が出来、素晴らしい団結力を見る事が出来ました。これも前理事長の能力・冷静な判断力の凄さに改めて深く感謝を申し上げ、松原氏の今後、益々のご活躍を祈念申し上げます。

さて、今年度より、新理事長に就任いたしますが、不安ばかりで、まだまだ整理がついておりません。しかし、役を受けたからには、常に前向きに歩み、若い感覚で運営したいと思っております。

今年度は、定時総会の全国大会を10月21日(水)～22日（木）に本県佐世保市のハウステンボスで開催予定でありますが、宿泊ホテルの確保・会議の内容・講演者の依頼等で不安材料が山積みしております。九州ブロックの方々にも、大変お世話になるかと思いますが、長崎の総会全国大会は「よかったね」と、言われる様に全員で頑張りたいと思いますので、ご協力宜しくお願い致します。

そして、全国の皆様、多数のご来県を心よりお待ちしております。

女子会の扉

今回より新企画として女性達の目線で日頃感じたこと、伝えたいこと、悩みごと、趣味、などなどこのページを通して全国の皆さんと交流を図っていくコーナーです。

名づけて<女子会の扉> 皆で開けば怖い（？）ものなし。男性には読ませないようにしましょう！担当は、札幌在住の吉田が担当いたします。（詳しいプロフイールは新理事の抱負をお読みください）

記念すべき第１回は、福井県のフレンドスポーツ　竹原清乃さんの登場です。

彼女は石川全国大会で司会を担当して頂き、癒しと機転のきく名司会で会場を和やかな雰囲気にと大活躍してくれました。

なおこのコーナーは、全国の女性が登場します。みなさんの協力なくしては継続していくことはできません。他人ごととは思わずどんどん積極的に参加して友達の輪を広げていきましょう！

福井県スポーツ用品協同組合
竹原清乃
㈱フレンドスポーツ

３ヶ月も前の事になるが、JSERA 石川大会の女性フォーラムの分科会に出席させていただいた。司会者の前準備の良さとリーダーシップに助けられ、又参加者も前もって意見をまとめていらした事もあり、女性特有の脱線もなく、素晴らしい分科会だった。かかる経費は別として、全員が「又、分科会に参加したい」と手を上げた。沢山の意見の中で、「なるほど、そうか、でも今の私にはおいそれと明日から実践は出来ないなあ」という意見もあった。「これなら出来そうや」という意見もあった。その一つに、表現は等しくないが、「女性ならではの笑顔で接客」。程度の差はあれ私だって笑顔で接客はしてきたつもり(…)。つもりではあるが、意識することが大切。翌日から意識することを実践した。お店の空気がどう変わるのか…ここに意識のスポットを当てることにした。先ずは、お買い物にくっついてきたおチビちゃんから実践。「おはよ！こんにちハ！元気？」大きな声で声かけをする。このご時世だから、かわいげのない子もいるが、声の大きさに押されて、ニコッとしたり、照れくさそうにオーム返しをしてくれる。話はそれるが、この世に存在する全てのものが、テラヘルツ波を照射、吸収しているのだそうだ。生命にかかわる生命光線と呼ばれている電磁波は、人間で言うと赤ちゃんが一番多く照射していて年を重ねるにつれ弱くなるのだそうだ。だからだろうか、おチビちゃんの一言で私の体中がうれしい気持ちで満たされる。私に (+) の効果ばかりだ。店の中はどんな空気になるのか…先ずおチビちゃんの親がニコッとしてくれる。その様子を見ていたスタッフや他のお客様も笑顔になる。笑い声があがる。意識をすることによって、こんなに明るい、温かい雰囲気を感じることが出来るのだ。人と人のふれあいは路面店ならこその喜びだ、大切にしようと思う。石川大会の分科会に出席し、全国の同じ立場の方々と話せたからこその気づきだ。大きな気づき、小さな気づき…気づくことが大事。変化の一歩となるに違いない。学びと気づきと仲間作り、今年の長崎大会に期待します。

表示と取扱説明書について

スポーツ用品公正取引協議会
宮地弘孝

平素は当協議会の運営にご協力とご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

また、私たちが自主的に運用する「スポーツの表示に関する公正競争規約」の運営にご協力いただきまして、重ねて厚くお礼申し上げます。

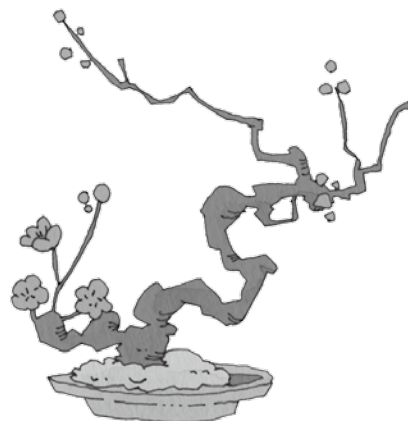
さて、二重価格表示によって不当な顧客の誘因行為は、散見されるものの、一応の沈静化の方向を見せております。これは、大型スポーツチェーン殿のご理解が深まったことが大きく寄与していると思います。

一方で、最近重要な事案としてクローズアップされているのが「取扱説明書」等の内容であります。価格につきましては、販売店殿の価格決定、そして、価格競争によるものでしたが、「取扱説明書」等の内容については、メーカーの発信する情報を、正確に消費者に伝えると言う事案であります。

背景と致しましては、消費者の関心が「安心・安全」に向かっていることがうかがえます。簡単な例を申しあげますと、スポーツシューズの取扱説明書です。

最近、スポーツがライフスタイルに深く浸透した結果、様々なスポーツシューズが市場に存在します。ところが、使用者が濡れた床面で滑って転んで骨折した場合、消費生活用製品安全法上、メーカーは事故の発生を知った日から10日以内に消費者庁に届け出義務は発生します。それを怠るとメーカーに行政処分が科せられるという厳しいものです。販売店殿にもその事故の発生を知ったのであれば、その情報をメーカーに提供する義務があります。事故が起こった際に、使用者が「取扱説明書」を読んだことが無いと言う例が非常に多くあります。

行政手続きの中で、「取扱説明書」に書かれている内容の適正さも審査されるので、「読んだ・読んでいない」と言う議論の中で、販売店殿の店頭で箱と一緒にメーカーの付けたタグも取り外して靴だけ持ち帰ると言う例があり、そのために消費者が不利益を受ける場合や、販売店様に指導を促す事例があります。

これは、一例でありますが、メーカーの発信する情報が正しく消費者に伝わるようご協力くださいますようお願い申し上げます。

国体を開催して

長崎県スポーツ用品協同組合
がんばらんば国体、がんばらんば大会
売店実行委員長 **吉井　健**

この度国体売店の実行委員長を務めさせていただきました長崎県諫早市のヨシイスポーツ店長吉井と申します。

今大会を振り返りご報告をさせていただきます。

45年ぶりの長崎での国体開催で前回は私は1歳。当時を知る組合員も少なく、過去の開催県様よりの情報を頼りに全組合員一丸となって取り組みました。

県や市の実行委員会の方々も同じように経験者は居ない状況で、かなり混乱があったように思います。

実行委員長とはいっても、実際の申請や運営は地区ごとに責任者を選任し手分けして行いました。開閉会式は県が管轄し、各競技は各市が管轄しました。その管轄ごとの申請方法や運営方法が異なり、それぞれの担当者も苦労していました。その中で一番厳しかったのは、私が担当したある市での手続きでした。その市では売店のスタッフ全員の顔写真付きの身分証明証（免許証、パスポート等）と販売商品の価格まで含めたリストの提出を求められました。当たり前と言えば当たり前ですが、開催の半年も前の時点での申請だったのでメーカーさんはアルバイトも確定していない状況のなかでしたが、毎年恒例のようで申請書類はある程度スムーズに準備していただけました。しかし大会初日、市の担当者がしっかりと細かくチェックに来られ、「申請している人と違う」「商品の価格が違う」と販売をやめるようにと指導が入りました。半年も前だったのでどこの会場に誰が行くか、何をいくらで売るか確定しないままに申請していたのが原因ですがここで販売をやめるわけにはいかないので実行委員会と交渉し、追加申請を認めていただきなんとか販売することができました。もちろん、天皇皇后両陛下や皇族方が御臨席される開閉会式の会場では厳しいのは当たり前なのですが、そうではない会場での事でしたので毎年各地で出店を経験されているメーカーさん方も大変驚かれた事案でした。

大会全体としては、開会式翌日の競技初日に台風の影響を受け販売中止となり室内競技の会場で初日で敗退し帰ってしまう選手達への販売機会を失った事が大きく売上に響いてしまいました。また、組合が関わっていないライバル2社が、後半になると割引販売をはじめたり、がんばらんば大会（身障者大会）では初日から半額等で販売していたことや明らかなルール違反のテント外での客引き等の行為も多く見られました。三度ほど実行委員会より注意していただきましたが繰り返しておりました。

今回テントには地元の組合をアピールするためにのぼりを用意しました。大会キャラクターを使用した国体使い切りのデザインと、今後のイベント時にも使えるデザインの2種類を作成し取り付けました。

あと競技会場から売店ブースへの案内看板は大会側で作成されたものではわかりにくい物が多かったです。設置に許可が必要でしょうが組合で費用を掛けてでも案内看板を準備出来れば良かったのではないかと後悔しています。

他にも終ってしまえばああすれば良かった、こうすれば良かったと反省ばかりです。

しかしJSEC様、各メーカー様、NES様、そして組合員みんなで力を合わせて台風の影響はあったもののなんとか成功と言える売店活動が出来たのではないかと思います。ありがとうございました。

近畿ブロック大会の報告

兵庫県運動用品商業協同組合
理事長　本 川 和 子

去る、11月12日（水）に、近畿ブロック協議会定時総会が、滞りなく無事終了しましたことをご報告いたします。

開催に際し、ご来賓、賛助会員（メーカー、問屋様）にも、多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

主管県の兵庫としては、多々至らぬこともありましたが、ご容赦頂きますようお願いします。

〈スポーツで活気ある近畿を！〉をスローガンに、組合員58名が参加し、総会においては、第4号議案まで混乱もなく、全員一致にて、承認されました。

ただ今期より、事務局長を向東スポーツ　宗田千耕氏に変わり、㈱マツダスポーツ　松田修一氏が就任しております。

総会後には、来賓、賛助会員とともに、三層研修会として、元プロ野球選手、元参議院議員　“江本　孟紀”氏を招き、“スポーツと政治”をテーマに公演していただきました。

江本氏は、参加者の熱気に押されて、政治的な話よりも、高校、大学、プロ野球時代の話が大半を占めて、頂点と奈落を何度も味わい、成功者の仲間入りができたという話でした。

この業界も、山あり谷ありの状態が続いておりますが、少しでも山の上にいる機会が多くなればと思いました。

その後、懇親会では、元タカラジェンヌの歌と踊りを鑑賞し、その声量に驚き、美しさにみとれ、あっという間の楽しい時間を過ごしました。

今回は、利便性を考慮し、阪神間の都市でということで、ノボテル甲子園を選び、また講師が、“江本孟紀氏”であったり、ゲストが元タカラジェンヌだったりしましたのは、実は甲子園球場が90周年、阪神タイガースが80周年、宝塚歌劇が100周年と、結構意味のある選択だったのです。

最後に、総会の冊子に広告の協賛を頂いいた賛助会員の皆様、厳しい環境の中、当協議会にご理解をいただきましたことを、誠に感謝申し上げます。

第16回JSERA中国ブロック大会（岡山大会）を開催して

岡山県運道具商協同組合
理事長　治郎丸真介

11月18日（火）私たち岡山県運動具商協同組合の主管のもと中国ブロック大会を岡山全日空ホテルに於いて開催しました。

当ブロックでは加盟5県が持ち回りで総会を開催しています。5年に1度の担当県として5月の岡山県総会にて「おもてなしの気持ち」で「ホスト役に徹し」頑張る事を確認し準備に入りました。

当日2時より岡山県中央会森輝明事務局長様、JSERA重森仁理事長様を来賓にお迎えして総会を開催しました。

開会に当たり尾坂眞人ブロック会長が昨年行われた全国大会（島根大会）の御礼を述べられました。来賓の方々には組合員減少が叫ばれる昨今、「組合とは？」「スポーツ店とは？」更には「スポーツとは？」を再考する機会になればと標題を絞りお話しをして頂きました。

森事務局長様からは他の団体組合の様子や特徴ある活動をされている組合の紹介をして頂きました。

また重森理事長様からは、組合活動は組合員だけの幸せではなく非組合員の為にもなっている。奉仕の気持ちを持ってスポーツ店を営む全ての方が幸せを感じられる様に頑張る人の集まりがJSERAであり、組合の原点ではないかと話されました。

議題に入り平成25年度の事業報告及び決算報告、また26年度の事業計画・予算書を賛成多数で可決されました。

続いて任期満了に伴う役員改選の審議に移り新ブロック長に広島県スポーツ用品協同組合渡邉健介理事長の就任が承認され閉会をしました。
引き続き三層協議会に移りました。

本大会ではメーカー・問屋も含め総勢43名の開催になり当初の目標「35人以上」を大きく上回ることが出来ました。

開会に先立ち島根県浅津博行理事長より昨年の全国大会での御礼を述べられました。

ここでも大阪スポーツ用品卸商業組合の出野正昭副理事長（ヒロウン社長）様より卸組合の活動と実態を詳しくお話し頂きました。

日頃は熾烈な戦いをしている相手だが、共にスポーツ界で生き抜く仲間として、お互いの地位向上の為に組合活動をしているとお話しされました。またメーカーとしてミズノ関西圏第一営業部の粂田慶典部長様は、外資系の非組合メーカーの進出が激しく非組合メーカー同士の戦いが起こっている。今後は日本のメーカーも生き残りを掛けて頑張らねばならないと話されました。

最後に山口県村重光範理事長の挨拶で閉会し、講演会に移りました。

「スポーツの楽しさを求めて」（北欧のスポーツ実践から）の演題で、朝日医療専門学校岡山校山下立次校長に講演をして頂きました。

就実大学教授時代に訪れた北欧のスポーツクラブに衝撃を受け、何度も渡欧して学んだ事を聞かせてもらいました。

中でも、「苦しいスポーツ」を経験した山下講師にとって「楽しいスポーツ」を実践している現場を見て衝撃を受け、現在は自身の教育方針も「楽しいスポーツ」が基礎に成っているとお話しされました。

講演会終了後の懇親会ではアシックス販売関西支社大山勝雄支社長様の御発声で乾杯をして開演。楽しい時間を過した後、次年度開催予定の鳥取県尾坂眞人理事長より挨拶があり最後にデサント第一営業部奥田昭部長様の音頭で「ガンバロー」を三唱して閉会しました。

ブロック大会の報告

九州ブロック協議会
会 長 **丸山 修**

平成26年度九州ブロック協議会総会が、平成26年11月5日（水）に佐賀県嬉野温泉 大正屋にて開催されました。主管県の小池理事長をはじめ佐賀県組合員の皆様には大会開会の準備から最後の見送り、後片づけまで大変ご苦労をかけました。内輪の事ですが、御礼申し上げます。

主管県として一番頭を悩ますのは、お呼びする方々の人選でしょう。来賓、メーカー、卸、小売り、業界の役職を含め、どなたに出席をお願いするかを決めるのは大変な作業となります。

過去の大会開催資料はあるものの、この作業こそ佐賀県組合の小池理事長には作業の煩雑さにもかかわらず、尽力いただきました。おかげで、110名に迫る方々に九州内また遠方からのご出席を頂きました。有難うございました。

ここで、話は脱線しますが、今年は、長崎県での全国大会開催となります。長崎県組合、九州ブロック協議会共々心構えを新たにしている所です。全国大会にも多数の皆様のご出席を賜りたくお願い申し上げます。

さて、総会で私は挨拶で、地球上では中生代に多くの種類の恐竜達が大隆盛を誇った時代があった。

一方で、我々の先祖にあたる哺乳類とよばれる小さな動物達も存在していてはいるものの、言わば道路の真ん中を恐竜達が我が物顔で席巻し、我々の先祖、哺乳類は道の端っこを、それも命がけで逃げたり、隠れたりで、何とか命脈を保っていたそうです。これは、今の私たちの業界の実態によく似ていると思いませんか。

ところがこの恐竜達は突然絶滅してしまいました。そして現在、この哺乳類のひとつであった人類が地球の中心で活動している。わたしたち地域スポーツ店もこのようにありたいものだと申し上げました。

それを受けて、来賓挨拶で重森仁理事長様から専門的に地球や恐竜のお話を諸説を挙げ、また、ゴキブリも地球上で、中生代以前から今日まで生き延びている事、環境に上手に適応した者だけが生き残っていると、ご教示頂きました。素晴らしいお話を有難うございました。

さて、全国津々浦々に展開している大型店と恐竜とが重なって見えるとは、あまりに虫のいい身勝手な発想、願望に過ぎるのは承知しておりますが、われわれの現在の苦境をみて、この環境適応は、なかなか思うようにはいかないのが現実ではありますが、すべての基本であると思うことでした。

審議事項では、長崎県松原究事務局から詳しく報告があり、原案通り決定しました。

九州ブロックでは役員会を年間ほぼ2か月に1回開催し、各県の実態や九州ブロックソフトバレーボールフェスティバル、九州ブロック総会開催等の会議をします。今年度は長崎県での全国大会開催ブロックとしての役員会に重きを置きたいと思っています。

三層協議会では、いわゆる式典の後、講演会となりました。

例年ですとスポーツに直接携わった方のスポーツに関する講演が多いのですが、今回は、アスリートとしてお父さんとともにスポーツに関わってこられ2012年ミスインターナショナル世界大会でグランプリを獲得した吉松育美さんの講演となりました。前年に佐賀県組合のヒラノスポーツ平野國隆社長に、この講演のお願いをしてあったそうですが、急逝され、後を息子さんの吉隆社長に引き継いで今日に至ったと後に知る事でした。

この講演会の中で、吉松育美さんの明確な目標を持ってその実現に全力を尽くすことをにこやかな表情で講演されましたが、スポーツ以上の厳しい世界で戦っておられると感じました。

そのあと三層懇親会の開催となり、非常に和やかな懇親会となりました。

以上、身勝手な内容の報告となりましたがお許し頂きたいと思います。

本年も九州ブロックはJSERA、各ブロックの皆様と手を携えて進んで参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

ノルディックウォーキングで歩こう！奈良・飛鳥

奈良県運動用具小売商協同組合
副理事長　**松 田 修 一**
㈱マツダスポーツ

日　　時：2014年11月30日（日）
　　　　　9時30分〜13時00分
場　　所：飛鳥歴史公園高松塚周辺地区〜石舞台
募集対象者：近畿一円　一般参加者
募集人数：300名
参 加 費：500円
協力・協賛企業：
　飛鳥京観光ボランティアガイド・奈良県ビジターズビューロー・アシックス販売㈱・㈱エスエスケイ・㈱キザキ・㈱キャラバン・㈱ザナックス・ゼット㈱・羽立工業㈱・ミズノ㈱・㈱デサント
後　　援：奈良県・奈良県教育委員会・明日香村・明日香村教育委員会・奈良県農業協同組合・大塚製薬㈱
報　　告：
　この事業はノルディックウォーキングとロコモの関連性を踏まえて、普及を促進させると共に健康寿命と平均寿命のギャップをうめロコモ予防を意識できるような機会を提供したいと考え、近畿ブロック協議会主催で開催いたしました。近畿一円より参加人数295名（男子71名・女子224名）が集まり、天候も快晴で温かくノルディックウォーキングを行うには最高の天気での開催となりました。

●受付画像

●ノルディックポール受け渡し場所

●開会式

●全員でストレッチ

ノルディックウォーキング大会報告

●ウォーキング開始

●名所にてボランティアガイドからの説明

●ゴール地点では、地域のボランティアの方々が地域の名産品を販売

●抽選会　商品受け渡し

課題はいろいろありましたが怪我もなく、無事に閉会する事ができました。

今回のテーマでもあるノルディックウォーキングを普及・促進する事ができ、運動の必要性も参加者には感じていただき、楽しんでいただいたと思います。参加者には経験者も多く、また高齢の方も多数参加いただきました。

長寿世界一ではなく健康寿命世界一を目指して、今後このような活動が全国にて頻繁に行われる事を祈念しております。

最後になりましたが、このイベントにご協力いただきました多数のメーカー・問屋・行政・ボランティアの皆様方に感謝いたします。

引き継ぎ事項：

・受付から開催までの時間はなるべく短くした方が良い。早く来られた方の待ち時間が長かった。
・ポールを返却されない方が4名ほどおられた。ポールの貸し出しの際何か方法を考えた方が良い。
・コースにあらかじめ道路にテープで矢印をつけた事は良かった。
・受付のチラシには、できれば『保険をかけておりますが、体調不良・怪我・事故等は保険の範囲内とさせていただきます』等のコメントが必要。
・5キロからスタートして3キロの皆様にはノルディックウォーキングの指導等行いました。結果5キロのゴールと3キロのゴールの時間は最小限になったと思います。また、早い方は地域ボランティアの方が地域の名産等販売していたので食事をとって頂け、時間も待っていただけたと思います。
・雨の場合のゴール地点での待ち時間は考えておいた方が良いと思います。今回は、建物や食堂がありましたが場所によっては参加者にご迷惑をかけてしまいます。
・雨天決行だったのですが、雨に対する問い合わせが多かったと思います。あらかじめホームページを利用する等、暴風雨での中止の場合の対策も必要だと思います。

第16期　第3回理事会報告

日　時：平成26年11月27日（木）　11：00～16：00
場　所：東京スポーツ会館4階　会議室

<報告事項>

1. 理事長報告

［11月　5日］九州ブロック総会（佐賀）　出席
［11月12日］近畿ブロック総会（兵庫）　出席
［11月18日］中国ブロック総会（岡山）　出席
［11月20日］活路開拓事業委員会　出席

<審議事項>

1. 委員会と担当業務の件

<活性化委員会>　美馬委員長

委員……笹渕委員・辻川委員

・愛媛県が国体前には法人化する方向でいる。

<共生委員会>　武宮委員長

委員……堀田委員・渡邉委員

・正常化対策会議を3月11日（大阪）・4月22日（東京）で開催を予定。テーマは無償提供問題とメーカー直販についてを考えている。

<広報委員会>　松村委員長

委員……宍戸委員・吉田委員

・JSERAリポートの内容としてオリンピック関連や女性のコーナーを創り本誌を盛り上げていく。

<事業委員会>　角前委員長

委員……関口委員・桑原委員

・全国大会に於ける売店活動条件について書面約束としていくためにJSECとの擦り合わせを行う。

<総務委員会>　土赤委員長

・全国大会に卸・メーカーの社長に出席いただけるよう努力する。

<会計>　前田委員長

・昨年度は赤字になり、今年度も収入の見込みがないので出費の見直しをする。

（全員一致で承認）

2. JSERA年間スケジュールの件

・役員会5回、理事会8回の日程の確認。
・現在予定・確定しているJSERAブロック大会、全国大会の確認。
・三大大会の日程の確認。
・日程が定まらない行事ついては、速やかに決定する。

（全員一致で承認）

3. ショッピングバッグの件

・業者より値上げ申請があり、金額交渉の末アップ率を下げた。値上げに伴い組合員への販売価格を改定せざるを得ない。

Aセット	12,300円	⇒	12,900円
Cセット	12,300円	⇒	12,900円
ACセット	18,450円	⇒	19,000円

・値上げ実施日は2015年2月1日受注分よりとする。
・新価格注文書を1月20日発行のJSERAリポートにて同送し全組合員へ配布する。
また、別途各組合事務局・注文常連組合店へ事務局から通達する。

（全員一致で承認）

<協議事項>

1. 活路事業経過報告の件

・学校アンケート、聞き取り用アンケート、組合員用アンケートを実施し、現在集計中。
・詳細については、次回理事会までに文章化し、全国理事長会議にて報告する予定。

2. 全国理事長会議（内容）の件

・各組合理事長の考えを探る場である。各組合で取り組んでいる事例や抱えている問題
等事前にアンケートを取り、意見交換できるようにする。
・アンケートは年内に配布し、次回理事会までに集約する。

3. ボールを贈ろう事業報告（11/26現在）の件

・まだ実施していない組合には、12月10日までに実施していただくよう促す。

4. ラインパウダー「無害くん」の件

・商標更新登録は10年分で登録を済ませた。
・商標が“無害君”となっているが、発音する言葉が申請文字なので問題はない。

5. 石川大会（総会）の反省点

・研修会の報告書を近日中に各組合へ発送予定。
・前夜祭については今後、主催県の意向を考慮し検討。
・ラケットメーカーの社長に出席をしていただけるようにしたい。

6. その他

・ずっと議論されてきたフェイスブックの件は、アンケートの結果、管理の問題点等を考慮し見合わせることとした。

（全員一致で承認）

2014 JSERA・委員会と担当業務

活性化委員会
※重点　優良小売店の認定制度に向けた活路開拓事業

委員長　美馬　義一　高知県組合理事長
委　員　笹渕　信嘉　福岡県組合連合会理事
〃　辻川　準一　奈良県組合理事長

1　スポーツ安全対策認定講習会の実施
2　「体育の日」の活性化への努力（グローバルに）
3　2020 東京オリンピック・パラリンピックと地域スポーツの推進（ブロック及び県組合）
4　各組合法人化の推進

共生委員会
※重点　三層と協調した利益率向上に向けた取り組みの研究

委員長　武宮　兼敏　福岡県組合連合会理事長
委　員　堀田　浩一　岐阜県組合副理事長
〃　渡邉　健介　広島県組合理事長

1　メーカー・卸との交流と対話
2　共生化ブロック組織作り
3　販売促進活動の正常化
　無償提供・直売・レンタル問題への対応
　大型店・アウトレット・通販の問題点の明確化
4　体育器具等の納品に関わる送料・作業費・開梱・廃棄等諸経費の確保

広報委員会
※重点　JSERA ホームページの活性化及びネット活用

委員長　松村　善行　宮城県組合理事長
委　員　宍戸　幸市　栃木県組合副理事長
〃　吉田留美子　北海道組合専務理事

1　広報誌 JSERA リポートの発行
2　POS 事業の推進
3　環境問題への理解と実践
4　女性の活力を生かす知恵創り

事業委員会
※重点　全国大会の売店活動強化と儲かる商材の研究

委員長　角前　博道　三重県組合理事長
委　員　関口　孝夫　埼玉県組合会長
〃　桑原　勇健　福島県組合理事長

1　ラインパウダー・ショッピングバッグ・スポーツ安全メガネ事業の推進
2　JSERA の商品づくり
3　大会情報伝達会議の開催と各種大会への表敬訪問ならびに情報収集
4　売店活動強化、改善（JSEC との連携等）

総務委員会
※重点　会員増強対策

委員長　土赤　光宏　愛知県組合理事長

1　各ブロック・各組合とのコミュニケーションと会員増強
2　総会・（全国大会）・理事会・全国理事長会議の設営
3　PL 保険等の見直し
4　国際交流
5　その他の委員会に属さないこと

会　計
※重点　消費税移行対策

委員長　前田　哲　大阪府組合副理事長

1　JSERA 会計
2　toto 事業の推進

第 16 期　JSERA 理事会・役員会（行事日程）

平成 26 年 10 月

年	月	日	曜日	JSERA 行事	理事会	役員会
26	8			全中（四国） インターハイ（南関東）		
	9	3	水	（会計監査）		第１回
		4	木		第１回	
		8	月	四国ブロック大会（香川） 高松国際ホテル		
		17	水	関東・甲信越ブロック大会（栃木） あさやホテル		
	10	上旬		国体（長崎）		
				体育の日活性化（各県組合） 「ボールを贈ろう運動」		
		21	火	中部ブロック大会（石川） ANA クラウンプラザホテル金沢		
		22	水	JSERA（定時総会）全国大会（石川） ANA クラウンプラザホテル金沢	第２回	
	11	5	水	九州ブロック大会（佐賀） 嬉野温泉大正屋		
		12	水	近畿ブロック大会（兵庫） ノボテル甲子園		
		13	木			第２回
		18	火	中国ブロック大会（岡山） 岡山全日空ホテル		
		27	木		第３回	
	12					
27	1	6	火	関西新年賀詞交換会		
		7	水	東京新年賀詞交換会		
		8	木	名古屋新年賀詞交換会		
		9	金	北陸３県新年賀詞交換会		
		14	水			第３回
		15	木		第４回	
	2	3	火	JSERA 全国理事長会議（午後） ニューオーサカホテル	第５回	
		4	水	JSEC 連絡会議（午前） 卸役員との懇談会（午後　見本市会場）		
		3・4	火・水	大阪卸見本市（インテックス大阪）		
	3	11	水	正常化対策会議（大阪）		
	4	22	水	正常化対策会議（東京）		第４回
		23	木		第６回	
	5					
	6					
	7	8	水			第５回
		9	木		第７回	
	8			全中（北海道・東北） インターハイ（近畿）		
	9	2	水	（会計監査）		第１回
		3	木		第１回	
	10			国体（和歌山）		
		22	木	JSERA（定時総会）全国大会（長崎）	第２回	

仲間紹介

広報委員会　**松村善行**

私たちの組合員で㈱アベスポーツ（栃木県足利市）　阿部貴行社長さんが、自らの経験を基にした本を出版されました。『地域密着繁盛店のつくり方』です。

とてもスポーツ経営に参考になります。

まずは、阿部さんからの想いを紹介します。

「私自身はたまたま運動具店の倅に生まれた二代目経営者です。そんな私も約一年間の企画、執筆、編集という作業の中でこの十年の仕事の棚卸を行うことが出来ました。一言で言えば慣習や惰性で続けてきた仕事の中にも意味があり、自分の中で言語化することで、改めて「どのような店を目指すのか」ということを認識することが出来ました。私自身、近年多くのスポーツ店同様に、顧客のニーズの多様化、近隣への大型店の出店、価格競争にさらされています。加えて、取引条件の変化や他業種との競合、人材の確保の困難という新たな問題にも直面しています。顧客に来店いただくためには、来店いただける理由を提示しなければなりません。この理由付けを①来店②売場・接客③再来店・来店促進という顧客の行動原理に沿って、まとめてみました。この本を手にして下さったご同業の皆様が自らの店が地域でキラリと光る店になるためのヒントや方法論を一つでも参考にして頂けたら、望外の喜びです。

本の紹介はアベスポーツホームページに記載されておりますのでご覧ください。

アベスポーツホームページ　www.abespo.com

編集後記

野球少年だったＡ君（当時小学生）

そのＡ君が父親となって新年早々20数年振りに子供のグローブを買いにきてくれたんです。

店に入って着たときサングラスをしていたのでＡ君とは分かりませんでした。

Ａ君「よく子供の頃買い物にきました！」

そしてサングラスを外した瞬間

私　「Ａ君でしょう！」

Ａ君「よく覚えていてくれました。」

だってＡ君子供の時にいたずらで眉毛を剃ってしまって何とマジックでかいてきたんです。

その時の顔といったら・・・・・・涙が出るほど笑いこけた事今でも鮮明に覚えています。

そんな2015年新年の始まり、出発進行！

(R.Y)

オリンピック・こぼれ話(6)は、今回はお休みいたします。